

〔長久手町業務評価票：平成19年度業務〕

課係NO・業務NO	□□□□-□□・□□	総合計画	□3節□4項	(2) 高齢者福祉施設の充実
担当課・係名	福祉の家 管理係【問合せ・質問等の先(内線番号) 64-6500番】			

業務の名称	福祉の家施設管理・修繕業務																																													
(1) 根拠法令・条例	長久手町福祉の家条例																																													
(2) 当該業務量 (延人員規模含む)	総業務量の 30.0% (係の総業務量を100%とする) 職員延人数: 445.0人・日 (臨時雇用者延人数: 0人・日)																																													
(3) 事業費 (人件費分を除く)	91,913 千円 (平成19年度決算(細目・細々目の実績から抽出・算定する))																																													
(4) 補助率(補助金がある 場合のみ記載)	_____ % (平成19年度実績)																																													
(5) 業務期間	開始した年度	14年度	終了(予定)年度	年度																																										
(6) 業務の概要 (簡潔に箇条書きで記載)																																														
①業務目的(達成目標)	町内の子どもから高齢者、障害者まで一日中楽しく過ごしてもらえる施設として、サービスの充実を図る。																																													
②業務が対象とする住民(地域、層)	町民																																													
③業務の具体的な実施内容・方法(平成19年度実績)	<ul style="list-style-type: none"> ・施設管理業務委託(306日) ・植栽管理委託 ・除草等委託 外 																																													
④業務の実施結果(平成19年度実績)	・H18年度よりH19年度の方が利用人数は増加したが、温泉スタンドの利用回数は減少した。 【業務結果の説明指標】																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">結果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度 実績</th> <th>20年度 目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>歩行浴室利用人数 (人)</td> <td>9,692</td> <td>11,788</td> <td>12,166</td> <td>12,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>福祉浴室利用人数 (人)</td> <td>4,719</td> <td>5,589</td> <td>5,624</td> <td>5,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>温泉スタンド利用回数 (回)</td> <td>3,618</td> <td>3,118</td> <td>2,615</td> <td>2,600</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					結果の説明指標		17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標	1	歩行浴室利用人数 (人)	9,692	11,788	12,166	12,300		2	福祉浴室利用人数 (人)	4,719	5,589	5,624	5,800		3	温泉スタンド利用回数 (回)	3,618	3,118	2,615	2,600		4							5					
結果の説明指標		17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標																																								
1	歩行浴室利用人数 (人)	9,692	11,788	12,166	12,300																																									
2	福祉浴室利用人数 (人)	4,719	5,589	5,624	5,800																																									
3	温泉スタンド利用回数 (回)	3,618	3,118	2,615	2,600																																									
4																																														
5																																														
⑤業務の成果(業務目的の達成状況)(平成19年度実績)	・H18年度よりH19年度の方が利用人数は増加したが、温泉スタンドの利用回数は減少した。 H20年度は利用人数の増加を目標とし、温泉スタンドはH19年度並みを目標とする。 【業務成果の説明指標：基本計画準拠】																																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成果の説明指標</th> <th>17年度</th> <th>18年度</th> <th>19年度 実績</th> <th>20年度 目標</th> <th>将来目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>歩行浴室利用人数 (人)</td> <td>9,692</td> <td>11,788</td> <td>12,166</td> <td>12,300</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>福祉浴室利用人数 (人)</td> <td>4,719</td> <td>5,589</td> <td>5,624</td> <td>5,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>温泉スタンド利用回数 (回)</td> <td>3,618</td> <td>3,118</td> <td>2,615</td> <td>2,600</td> <td></td> </tr> <tr> <td>4</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>5</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					成果の説明指標		17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標	1	歩行浴室利用人数 (人)	9,692	11,788	12,166	12,300		2	福祉浴室利用人数 (人)	4,719	5,589	5,624	5,800		3	温泉スタンド利用回数 (回)	3,618	3,118	2,615	2,600		4							5					
成果の説明指標		17年度	18年度	19年度 実績	20年度 目標	将来目標																																								
1	歩行浴室利用人数 (人)	9,692	11,788	12,166	12,300																																									
2	福祉浴室利用人数 (人)	4,719	5,589	5,624	5,800																																									
3	温泉スタンド利用回数 (回)	3,618	3,118	2,615	2,600																																									
4																																														
5																																														

(7) 遂行上の問題点、取組課題（箇条書きで簡潔に記載）
・経年による施設の老朽化

(8) 改善実績（過去3年間の実績）
・各種修繕

(9) 業務の評価（自己診断）		
評価基準	評価の視点	五段階評価 (5～1点)
①目的の達成状況	業務目的に対して、どの程度の成果が得られているか。	4点
②コストパフォーマンス	成果を上げるために投入してきた人的資源、財源は、適切であったか。	3点
③業務方法の最適採用	業務の円滑で効率的な実施に採用した方法・手法は業務の目的、取り巻く状況に対応して適切であったか。	4点
④住民の満足・信頼獲得	受益する住民の満足、行政に対する信頼は高められたか。	4点
⑤総合計画との整合	総合計画（基本計画）の方針に対応しているか。	5点
⑥他都市との比較	近隣の都市、類似団体に比べて業務の進み具合はどうか。	5点
		平均 4.2点

(10) 総合評価（課の見解）	
①今後の方向 (該当番号に○印)	1. 前年度と同じく、そのまま継続する。 2. 見直して継続（業務の拡大） 3. 見直して継続（業務の縮小） ④. 見直して継続（方法の改善） 5. 見直して継続（他業務と統合） 6. 廃止する。 7. 休止する。
②評価理由	福祉の家は温泉エリアと福祉エリアからなる温泉施設でもあり、利用者が多いため施設の修繕等を行いつつ、継続して実施する。

(11) 今後の目標・改善方針（具体的かつ簡潔に記載。課の見解を記入すること）
老朽化が進む施設を、適切に維持管理しながら町民の利用に供する。